学校番号	1016

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	（学）被服製作実習Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

被服の基本型と文化、着装などに関する知識と技術を習得しましょう。特に和服と洋服の構成の違いを理解し、和服の構成技術を習得しましょう。

そして、自分で浴衣を着ることも学び、製作発表（貝高フェスタの浴衣ファッションショー）に臨み着装の楽しさも味わいましょう。

2　学習の到達目標

浴衣の被服製作実習を行うことを通して、基本的な平面構成と立体構成の知識と技術を習得し、被服製作に必要な基本的な知識と技術を習得することをめざす。

【知識及び技能】

・被服の基本型と文化、着装などに関する知識と技術を習得する。

・和服と洋服の構成の違いを理解し、和服の構成技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】

・舞台発表するにあたり、音響や演出方法について考える。習得した基本的技術を適切に活用し、自分なりの工夫やアイデアを取り入れた作品を製作しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

・自らの縫製技術を向上させようと積極的かつ主体的に取り組もうとしている。

・社会生活上の着装のマナーについて理解し、調和のとれた着こなしを表現する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	被服の基本型と文化、着装などに関する知識と技術を身に付けている。	和服と洋服の構成の違いを理解し、和服の構成技術を習得しようとしている。 舞台発表するにあたり、音響や演出方法について考えようとしている。	自らの縫製技術を向上させようと積極的かつ主体的に取り組もうとしている。 習得した基本的技術を適切に活用し、自分なりの工夫やアイデアを取り入れた作品を製作しようとしている。 社会生活上の着装のマナーについて理解し、調和のとれた着こなしを表現しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	被服の基本と文化	1．被服の基本型と文化 2．着装の基本 3．和服の構成	a:平面構成衣服の特徴と、立体構成衣服を製作するのに必要な知識を理解している。 b: 和紙を使ってミニ浴衣を作成するにあたり、構成を理解しながら模様を考えようとしている。 c:浴衣の構成にはどのようなことが必要かを考え、衣服の構成に関心をよせている。	小テスト 作品製作	ワークシート 作品レポート 授業プリント	授業観察 ポートフォリオ 授業プリント
	和服製作実習	4. 浴衣の製作	a:用具の適切な使用方法、布地の性質や扱い方、ミシンの使い方、基本的な縫製方法を理解している。 b:効率よく作業するにはどうすればよいかを考え、道具を準備したり縫い方を考えたりすることができる。 c:製作の準備として、基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。また、製作過程を意欲的に計画しようとしている。	小テスト 作品製作	ワークシート 作品レポート 授業プリント	授業観察 ポートフォリオ 授業プリント
2学期	和服製作実習	4. 浴衣の製作	a:用具の適切な使用方法、布地の性質や扱い方、ミシンの使い方、基本的な縫製方法を理解している。 b:効率よく作業するにはどうすればよいかを考え、道具を準備したり縫い方を考えたりすることができる。 c:製作の準備として、基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。また、製作過程を意欲的に計画しようとしている。	小テスト 作品製作	ワークシート 作品レポート 授業プリント	授業観察 ポートフォリオ 授業プリント

3学期	和服の着装	5. 和服の着付け 製作発表に向けて	a:和服の着付けの特徴を理解し、美しく着こなす技術を身に付けようとしている。 b:美しく着こなすにはどのようかことが必要かを考えることができる。また、発表に向けての創意工夫ができている。 c:着付けの方法を積極的に学び、発表に向けて協働的に取り組もうとしている。	小テスト 実技テスト	ワークシート 作品レポート 授業プリント	授業観察 ポートフォリオ 授業プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度